


令和2年度進行管理・評価シート  
小田原市歴史的風致維持向上計画(平成23年6月8日認定)  
(最終変更平成31年3月29日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施に向けた推進体制の強化	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 皆春荘整備保全活用事業	5
4 歴史的風致形成建造物等整備事業	6
5 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	7
6 八幡山古郭・総構整備事業	8
7 案内板等整備事業	9
8 小田原文学館整備活用事業	10
9 旧松本剛吉別邸整備保全活用事業	11
10 国道255号電線地中化事業	12
11 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	13
12 景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業	14
13 かまぼこ通り地区における街なみ環境の向上	15
14 小田原用水保全事業	16
15 市道0026横断線地中化事業	17
16 祭礼等保存継承事業	18
17 歴史的風致形成建造物等活用事業	19
18 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	20
19 街かど博物館活用事業	21
20 なりわい交流館活用事業	22
21 伝統的工芸品産業産地組合助成事業	23
22 小田原散策マップ等作成事業	24
23 レンタサイクル事業	25
24 民俗芸能保存支援事業	26
25 無形民俗文化財記録作成事業	27
26 文化財の総合的把握・育成支援事業	28
27 伝統行事・伝統文化啓発事業	29
28 職人育成研修等推進事業	30
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の指定	31
2 文化財の修理(整備を含む)及び防災	32
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	33
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 皆春荘と旧松本剛吉別邸を改修	34
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 小田原城天守閣の魅力向上	35
2 観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)	36
3 木づかいのまちの取組(小田原産木材の活用など)	37
4 歴史的風致に関する意識啓発	38
5 歴史まちづくりの効果	39

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	40
-------------------------	----

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
計画実施に向けた推進体制の強化		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	計画変更や事業実施に係る懸案事項については、「小田原市歴史まちづくり協議会」において協議し、推進にあたる。行政内部の進捗管理を行うため「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」を組織し、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取組が行える仕組みとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・小田原市歴史まちづくり協議会については、例年2回の開催としていたところ、現計画の期間満了に伴う最終評価及び第2期計画の策定を見据え、年3回開催することとした。第1回協議会を5月、第2回協議会を11月、第3回協議会を1月に開催し、現計画の推進や第2期計画の策定を中心に協議を行った。なお、第1回協議会については、新型コロナウイルス対策による緊急事態宣言の解除直後のため、小田原市歴史まちづくり協議会規則に基づき、書面協議にて開催した。</p> <p>・小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議については、第2期計画の策定を見据え、事業の推進及び調整等を着実に進めるため、令和元年度に制定した小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議設置要綱に基づき、第1回推進会議(書面協議)を4月に、第2回推進会議を10月に開催した。主な議題としては、現計画の期間満了に伴う最終評価及び第2期計画の策定、令和元年度における各事業の進捗などに係る協議を行った。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○小田原市歴史まちづくり協議会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>第1回協議会(令和2年5月28日開催)</b>                      ※小田原市歴史まちづくり協議会規則第9条に基づく協議の結果、全委員の承認があったことから、同規則第5条第2項を準用し、書面協議にて開催</p> <p>1 議題                      (1)協議事項                      令和元年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シート(案)について                      (2)報告事項                      小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)策定に係る国との協議について</p> <p><b>第2回協議会(令和2年11月11日開催)</b>                      1 議題                      (1)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)について                      2 報告案件                      (1)社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)に係る費用便益分析について                      (2)景観重要建造物について</p> <p><b>第3回協議会(令和3年1月18日開催)</b>                      1 協議事項                      (1)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定について                      (2)計画期間に係る最終評価シートについて                      2 報告案件                      (1)(仮称)小田原市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の制定について</p> </div>  <p style="text-align: center;">協議会の様子</p>			
<p>○小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>第1回推進会議(令和2年4月27日開催)</b>                      ※小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議設置要綱第6条の規定に基づき、書面協議にて開催</p> <p>1 協議事項                      (1)令和元年度進行管理・評価シート(案)について                      (2)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)に係る国との協議資料(案)について</p> <p><b>第2回推進会議(令和2年10月6日開催)</b>                      1 議題                      (1)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)について                      (2)景観重要建造物について</p> </div>  <p style="text-align: center;">推進会議の様子</p>			

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致維持向上計画の重点区域はすべて都市計画区域内であり、今後とも都市計画制度等を積極的に活用し、重点区域として相応しい良好な市街地環境の形成を進める。 また、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、当該計画における3つの拠点型重点区域を含むため、これら景観施策と積極的な連携を図ることとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成17年度に策定した「小田原市景観計画」に基づき、市内における良好な景観形成のための規制誘導を行っている。 【景観届出件数】 H30年度: 72件(うち、小田原城周辺地区5件、小田原駅周辺地区6件、国道1号本町・南町地区16件、その他45件) R1 年度: 49件(うち、小田原城周辺地区5件、小田原駅周辺地区9件、国道1号本町・南町地区4件、その他31件) R2 年度: 108件(うち、小田原城周辺地区5件、小田原駅周辺地区5件、国道1号本町・南町地区9件、その他89件) 【景観評価件数】 H30年度: 7件(市民ホール、ラスカ駐車場、広域交流施設、かまぼこ通り地区の景観計画等に係る意見) R1 年度: 8件(広域交流施設、市民ホール整備、西口駅前再開発ビルに係る意見等) R2 年度: 4件(広域交流施設、小田原用水保全事業、小田原城本丸広場便所新築工事に係る意見等) ・景観計画重点区域内の民有建築物については、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等における屋根及び外壁に係る設計費及び工事費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施している。 【修景実施件数】 H30年度: 3件(池田邸/国道1号本町・南町地区、花政本店、丸江/銀座・竹の花周辺地区) R1 年度: 2件(熊金商店/銀座・竹の花周辺地区、黒後邸/かまぼこ通り周辺地区) R2 年度: 3件(第22区公民館/国道1号本町・南町地区、あげたてっこ、銀座コミュニティスクエア/銀座・竹の花周辺地区) ・平成21年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物における規制誘導を行っている。 【屋外広告物届出件数】 H30年度: 348件(うち、小田原城周辺地区0件、小田原駅周辺地区23件、国道1号本町・南町地区8件、その他317件) R1 年度: 277件(うち、小田原城周辺地区2件、小田原駅周辺地区16件、国道1号本町・南町地区3件、その他256件) R2 年度: 301件(うち、小田原城周辺地区0件、小田原駅周辺地区35件、国道1号本町・南町地区5件、その他261件) ・景観法に基づく景観重要建造物の指定制度の確立について検討を進めている。 令和2年11月11日に開催された歴史まちづくり協議会、及び、令和3年1月22日から3月29日まで書面協議で開催された都市計画審議会にて、景観重要建造物の指定方針(案)等について報告し、意見聴取を行った。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○重点区域内における良好な景観形成の事例 (景観形成修景費補助金制度によるもの) 「12.景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業(p.14参照)」			
○景観重要建造物の指定候補イメージ			
			
小田原城天守閣		清閑亭	
			
二の丸観光案内所		小田原宿なりわい交流館	

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
清閑亭保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国登録有形文化財の歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・コロナ禍のため、令和2年3月9日から6月9日まで休館し、6月10日から一定の制限を設け再開した。  
 10月以降、政府のGO TOイベント等を踏まえ、施設への入館等について制限を緩和した。  
 ・民間団体の自由な発想を生かすため、NPO法人へ活用委託し、施設に関連したイベント等を実施した。  
 ・回遊性の拡大に向け、引き続き、近隣の歴史的風致形成建造物(松永記念館、小田原文学館等)と連携した冊子等を発行した(コロナ禍のため、スタンプラリーは中止している)。  
 ・神奈川県と民間の協働事業である「湘南邸園文化祭」へ引き続き参加し、市外への積極的な情報発信をした。

【定量的評価】

平成27年度入館者	29,007人	事業数	106事業	参加者数	16,785人
平成28年度入館者	33,201人	事業数	139事業	参加者数	20,719人
平成29年度入館者	33,102人	事業数	106事業	参加者数	27,849人
平成30年度入館者	25,712人	事業数	124事業	参加者数	21,276人
令和元年度入館者	21,421人	事業数	123事業	参加者数	20,106人(3月9日から休館)
令和2年度入館者	8,919人	事業数	44事業	参加者数	4,683人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

<活用>

○清閑亭でのイベント(講演会、まち歩き、展示会など)



正井尊展 幽邃—ゆうすい—  
(令和2年10月31日～11月8日)  
来館者数:554人



木のうつわ展  
(令和2年11月27日～30日)  
来館者数:368人



数寄屋棟梁とめぐる名建築  
(令和2年11月21日)  
参加者数:14人

○回遊性を高める取組

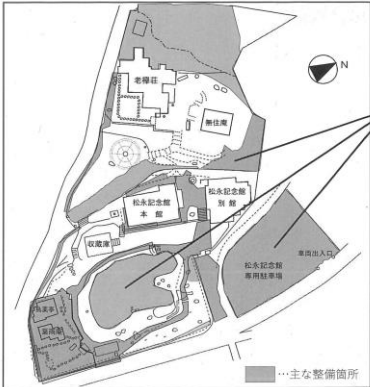




松永記念館、清閑亭、小田原文学館の三館で構成されている「小田原邸園文化ネットワーク」による「おだわら邸園さんぽ」の作成

○神奈川県の協働事業への参加



湘南邸園文化祭  
パンフレット

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業		
計画に記載している内容	昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館については、敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>&lt;整備&gt;</p> <p>・令和2年度は、庭園と駐車場の整備工事を行った。庭園については、石段や四阿(東屋)など、設立者・松永耳庵が過ぎた当時の姿に可能な限り復元し、また、来館者の利便性向上のため、一部バリアフリー化もふまえた園路の舗装工事などを進めてきたが、地元の要望もあり、外周フェンス更新の必要が生じたため、工期延長を行い、令和3年6月頃に完成する見込みとなっている。</p> <p>&lt;活用&gt;</p> <p>・松永記念館関係者からなるボランティア団体により、庭園呈茶を定期的に行っている。(令和2年度:2回開催・80人参加)</p> <p>【定量的評価】 来館者数                      平成25年度 22,905人、平成26年度 22,086人、平成27年度 25,918人、平成28年度 19,878人                      平成29年度 22,461人、平成30年度 22,342人、令和元年度 18,304人(3月4日から休館)                      令和2年度 1,408人(休館4月1日～6月8日/9月1日～3月31日)                      ※4月1日～6月8日は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館。9月1日～3月31日は工事による休館。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>&lt;整備&gt;</p> <p>○庭園・駐車場整備工</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>松永記念館庭園・駐車場整備等工事</p> </div> </div> <p>…主な整備箇所</p> <p>&lt;活用&gt;</p> <p>○庭園呈茶</p> <div style="display: flex;">   </div>			

評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
皆春荘整備保全活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)・市単独事業

計画に記載している内容 皆春荘を適切に保全のうえ、主屋、門、庭園の修景整備等を一体的に実施する。また、周辺にある松永記念館、古稀庵、共寿亭(旧山月)とともに、周辺散策の休息拠点や交流施設として整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<整備>  
 ・皆春荘は、元首相清浦奎吾により建てられ、その後、元老山縣有朋の別邸古稀庵の別庵として編入された。古稀庵の多くは解体・移築され、当時のまま残る建物は市内で皆春荘のみである。小田原の別邸文化を伝える遺構として、着実な保全を図るため、平成30年度に公有化した。  
 ・板橋散策のレストスペース(公園的機能)として、歴史・文化に触れようと訪れた観光客が回遊しやすい環境を整えようととも、その活用に向け、令和2年度については耐震等改修実施設計を行い、耐震等改修工事を進めてきたが、コロナ禍等により遅れが生じたため、工期延長を行い、令和3年5月末に完成する見込みとなっている。

【定量的評価】  
 平成30年度 開館日：76日 入館者数：2,322人  
 令和元年度 開館日：132日 入館者数：1,990人(3月2日から休館)  
 令和2年度 開館日：0日 入館者数：0人  
 (令和2年3月7日から感染症拡大防止のため休館。6月以降は、耐震等改修工事実施のため休館。)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

<整備>



イ主屋  
ウ庭園  
ア門

耐震等改修工事



皆春荘



山縣有朋自筆の書

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・復原に対する助成を行うことにより、歴史的建造物の保全・活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重点区域における歴史的建造物は、歴史的風致の維持及び向上を図る上で必要かつ重要であり、建造物の意匠、技術が優れ、歴史や地域性、希少性などの観点から価値の高いものなどを歴史的風致形成建造物に指定し、保存・活用を図っている。 ・令和2年度については、1件の歴史的風致形成建造物の指定及び歴史的風致形成建造物改修整備費補助金を活用した整備を予定していたが、コロナ禍のため、所有者から辞退の申入れがあり、見送りとなった。 ・また、歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補となっている民有物件の所有者に保全・活用の現況等についてヒアリングを行った。			
【定量的評価】			
歴史的風致形成建造物の指定件数			
平成24年度 4件(松永記念館、清閑亭、小田原文学館本館、同別館)			
平成27年度 2件(岡田家住宅、皆春荘)			
平成28年度 2件(無住庵(松永記念館への追加)、旧内野醤油店)			
平成29年度 2件(籠清、江嶋)			
平成30年度 1件(えじまや(旧江嶋屋陶器店))			
令和元年度 2件(小田原宿なりわい交流館(旧角吉)、nico cafe(青木家住宅))			
令和2年度 0件			
計 13件(うち既存指定への追加1件含む)			
歴史的風致形成建造物の助成件数			
平成30年度 2件(江嶋、えじまや(旧江嶋屋陶器店))			
令和元年度 1件(nico cafe(青木家住宅))			
令和2年度 0件			
計 3件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○歴史的風致形成建造物(民有物件)の現況			
			
江嶋		えじまや(旧江嶋屋陶器店)	
			
nico cafe(青木家住宅)			

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき、史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・御用米曲輪については、平成22年度の整備実施設計に基づき、平成25年度から北東・北西土塁の形状復元や地被植栽、駒寄の設置等の修景整備工事を行っており、令和2年度には、北東土塁の修景整備工事の一部を実施した。

・八幡山古郭・総構等を含めた史跡小田原城跡・全体の保存・管理・活用・整備については、「史跡小田原城跡保存活用計画」にその方針を示した。

・史跡保存活用計画策定等を広報で周知(広報9月号)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○修景整備工事



北東土塁の整備(土塁の成形)

○史跡保存活用計画策定事業・整備の周知

市広報掲載記事(令和2年9月)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
八幡山古郭・総構整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産として、順次、史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設整備を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」に基づき、史跡指定を進めるとともに、公有地化を図っている。令和2年度は、小峯御鐘ノ台大堀切西堀の一部を公有地化した。
- ・さらに、今後、総構城下張出の一部を公有地化する予定で、来年度の公有地化に向け総構稲荷森の境界測量を実施した。
- ・史跡小田原城跡の管理については、平成29年度から小田原城総合管理事務所へ移管し、八幡山古郭・総構についての一体的な維持管理体制を整え、土塁や堀の形状が分かるよう草刈などを行った。
- ・小田原城天神山回遊路整備を実施した。
- ・所有者のご理解・ご協力を得て、貴重な遺構の保存に向け取組中の地点もある。
- ・本丸・二の丸等を含めた、史跡小田原城跡全体の保存・管理・活用・整備については、「史跡小田原城跡・保存活用計画」にその方針を示した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○公有地化事業



公有地化した小峯御鐘ノ台大堀切西堀の一部



公有地化実施中の総構城下張出の一部(補償調査状況)

○史跡指定等



公有地化に向けた総構稲荷森の測量(立会)



所有者のご理解・ご協力を得て  
貴重な遺構の保存に向け取り組んでいる地点

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設・更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和2年度は、これまでに設置した案内板の設置状況を把握するため、ウォーキングタウン小田原散策マップ(東部、中央、西部)を基に全11コースを踏査による調査を行った。  
 ・調査結果に基づき、今年度は10箇所の案内板等の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○踏査を行った案内板



○整備した案内板



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
小田原文学館整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 国登録有形文化財である小田原文学館(本館・別館)は、別館の屋根の改修等を実施するとともに、周辺の歩行者空間の整備等と併せて、施設内に新たな便益施設を整備し、まちなかを回遊する際の休憩施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和2年度については、令和元年度に引き続き、小田原文学館改修等工事に伴う実施設計(平成30年度作成)に基づき、本館主体部北面の出格子の修繕等を実施した。

【定量的評価】

小田原文学館 来館者数

平成23年度:9,121人、平成24年度:9,578人、平成25年度:8,068人、平成26年度:8,501人、平成27年度:10,012人、平成28年度:8,834人、平成29年度:7,823人、平成30年度:8,585人、令和元年度:6,249人(3月4日から休館)、令和2年度:2,519人(6月9日から開館、1月9日から3月21日まで休館、3月22日から開館)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<整備> ○本館主体部北面の出格子の修繕

改修前



腐食、劣化した出格子

改修後



評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
旧松本剛吉別邸整備保全活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)・市単独事業

計画に記載している内容 旧松本剛吉別邸については、適切な保全のうえ、主屋、茶室、庭園の修景整備等を一体的に実施する。また、周辺の別荘・別邸文化を発信する交流施設として整備することにより、市民や観光客がより容易に歴史的風致に触れることができるような環境整備や周辺地域の回遊性の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<整備>  
 ・旧松本剛吉別邸は、主屋と別棟の茶室(雨香亭)・待合等の建物と、築山や水景を伴う庭園から成り、茶道での交流が盛んであった近代小田原の別邸文化を伝える貴重な遺構として、着実な保全を図るため、平成30年度に公有化した。  
 ・小田原駅・小田原城から、かまぼこ通り、西海子小路、箱根板橋駅周辺、小田原漁港周辺地区などをつなぐ位置に立地していることから、観光交流を促進する拠点施設としての活用に向け、令和2年度については耐震等改修実施設計を行い、耐震等改修工事を進めてきたが、コロナ禍等により遅れが生じたため、工期延長を行い、令和3年5月末に完成する見込みとなっている。

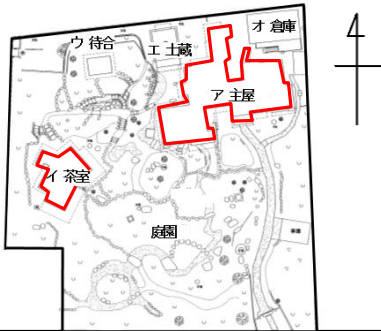
【定量的評価】

平成28年度 開館日:172日 入館者数:7,005人  
 平成29年度 開館日:203日 入館者数:9,538人  
 平成30年度 開館日:181日 入館者数:6,070人(8月は庭園整備等のため休館)  
 令和元年度 開館日:128日 入館者数:5,601人(3月2日から休館)  
 令和2年度 開館日:0日 入館者数:0人  
 (令和2年3月7日から感染症拡大防止のため休館。6月以降は、耐震等改修工事実施のため休館。)


進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない


<整備>



西海子小路  
耐震等改修工事



旧松本剛吉別邸



茶室「雨香亭」

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
国道255号電線地中化事業		現在の状況 ■実施済 □実施中 □未着手

事業期間 平成22年度～令和2年度

支援事業名 単独事業

計画に記載している内容 国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成23～29年度 電線共同溝工事等を実施
- ・平成29年度 栄町一丁目交差点～竹の花交差点間 事業完了
- ・平成30年度 竹の花交差点～栄町三丁目交差点間西側歩道 支障物件移設工事完了(平成30年度計画分)
- ・令和元年度 竹の花交差点～栄町三丁目交差点間西側車道 支障物件移設工事完了(令和元年度計画分)
- ・令和2年度 竹の花交差点～栄町三丁目交差点間東側車道 支障物件移設工事完了(令和2年度計画分)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歩道のデザイン等、地元調整を充分行い、景観上望ましいものに誘導していく必要がある。栄町3丁目交差点から北側についても、実施設計において、照明灯の位置と共に、街路樹の植栽などを調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-11  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会は、旧甲州道沿道の「歴史や文化やなりわいを掘り起こした空間」と「自然素材等を活用した本物志向の活力ある街なみづくり」を地区街づくりの目標に掲げ、街なみ整備を進めている。
- ・「銀座・竹の花周辺地区街づくり基準」に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対して、「街なみ環境整備事業補助金」により経費の一部を助成し、景観の形成を図っている。また、必要に応じて「銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会」で協議し、良好な景観形成に向けた取組を進めている。
- ・「10.国道255号電線地中化事業」(p.12参照)による電線類の地中化、歩道的美舗装化、街路樹の植栽により、当該地区の街なみに変化が生まれた。
- ・南街区については、電線類地中化(市道)に伴うアーケード撤去に伴い、当該地区の修景に係るニーズが高まることが見込まれることから、修景ニーズを的確に捉えつつ、今後は、景観計画における重点区域化に向け、地区街づくり協議会と連携しながら、景観形成の促進を図っていく。

【定量的評価】

街なみ環境整備事業補助件数

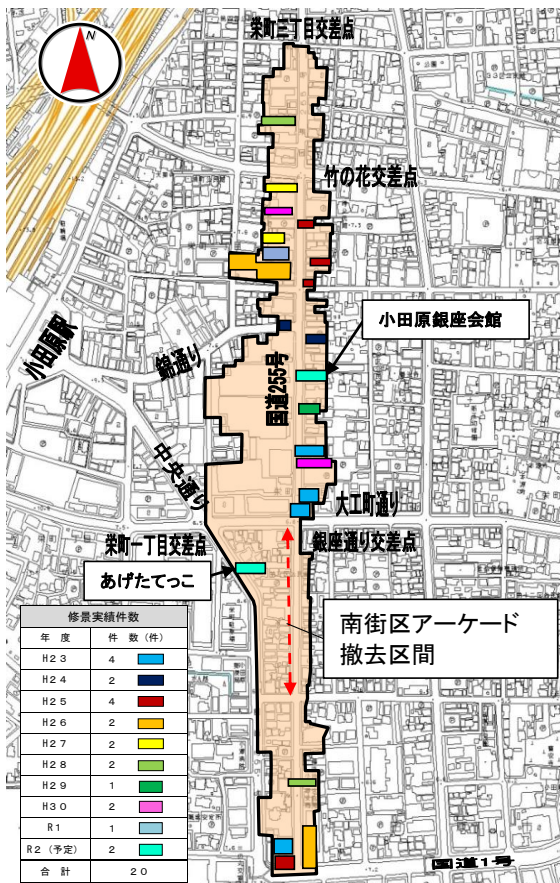
平成23年度:4件、平成24年度:2件、平成25年度:4件、平成26年度:2件、平成27年度:2件、平成28年度:2件、平成29年度:1件 平成30年度:2件、令和元年度:1件、令和2年度:2件

歴史的風致形成建造物補助件数

平成30年度:1件(江嶋)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



○街なみ環境整備事業補助金

有限会社杉清商店 あげたてっこ(令和2年度)



修景前

修景後

小田原銀座会館(令和2年度)



修景前

修景後

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 景観計画における3つの拠点型重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区)又は当該区域への移行に取り組む区域(かまぼこ通り地区)において、景観形成の方針に基づく景観修景に対する助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・拠点型重点区域又は当該区域への移行に取り組む区域の景観形成の方針に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対し、「景観形成修景費補助金」により経費の一部を助成することで、景観の形成を図っている。

【定量的評価】

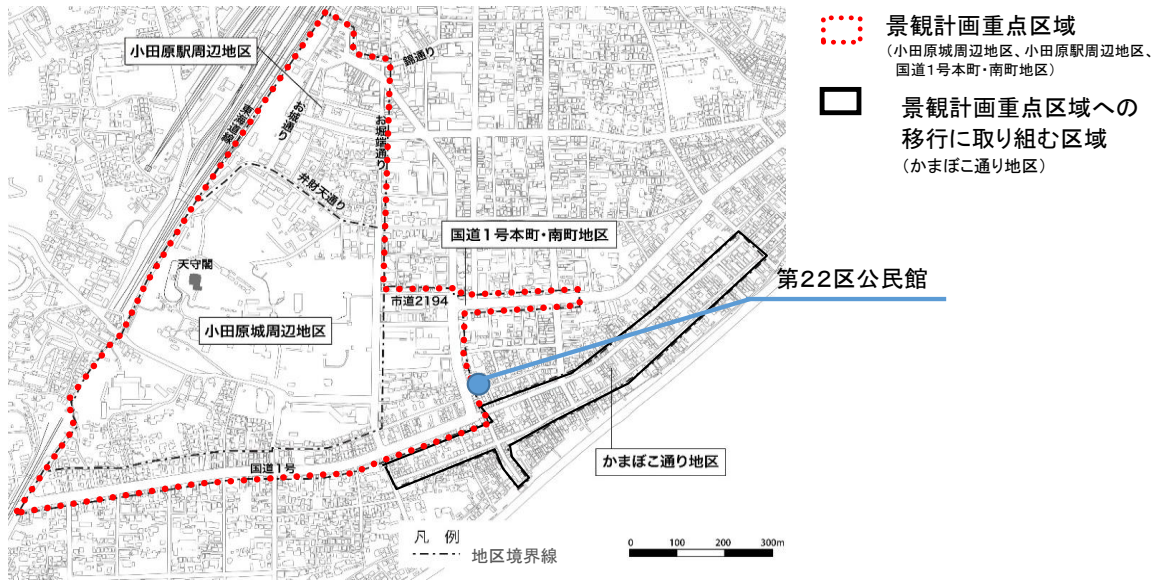
景観形成修景費補助件数 令和元年度:1件(かまぼこ通り地区)  
令和2年度:1件(国道1号本町・南町地区)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画重点区域(拠点型重点区域)



○景観形成修景費補助事業

第22区公民館外観修景工事

- ・拠点型重点区域の「国道1号本町・南町地区」に該当する。
- ・小田原宿なりわい交流館の北に位置し、建物は景観計画の色彩基準に適合し、歴史が感じられる意匠に配慮している。
- ・補助対象の工事については、令和2年5月に工事着手し、令和2年8月に完了した。



第22区公民館(国道1号本町・南町地区) 改修前

第22区公民館(国道1号本町・南町地区) 改修後

評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
かまぼこ通り地区における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 小田原かまぼこ通り地区において、建築物等の修景整備に対する助成、歩車道の美装化や緑化、横断線の地中化等に取り組み、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和2年度については、地元住民や観光客等、歩行者の滞留空間を確保するため、かまぼこ通り地区の中心である市道2033と市道2035との交差点において、一部用地を取得し(取得面積 A=35m<sup>2</sup>)、ポケットパークの整備を行った。

【市道2035道路改良工事(ポケットパーク整備 A=35m<sup>2</sup>) 令和3年1月～令和3年3月】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○事業箇所



○市道2035(ポケットパーク整備)



施工前



施工後



評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
小田原用水保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和2年度

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業・市単独事業

計画に記載している内容 日本最古の上水道とされ、板橋地区が誇る歴史的風致の1つである小田原用水(板橋第一排水路)の保全及び用水路脇の道路(市道0027)の景観舗装を行い、歴史的なまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和元年度～令和2年度に、歴史的風致が色濃く残る板橋地区の重要な資源として相応しい整備のあり方を整理した上で、周辺環境、景観に配慮した保全方法(整備内容)を検討し、整備可能な箇所をモデル区間として定め、保全工事を実施した。

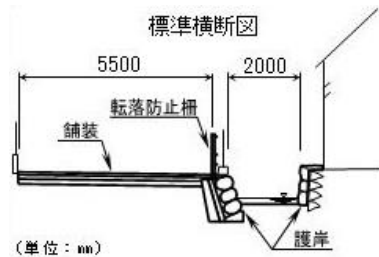
【小田原用水保全工事(工事延長L=39.8m) 令和2年12月～令和3年3月】

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○事業箇所



○小田原用水(板橋第一排水路)



施工前



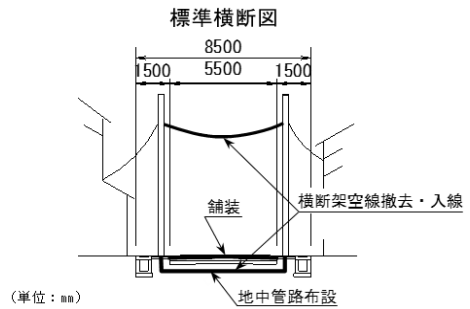
施工後

評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
市道0026横断線地中化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和2年度		
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業・市単独事業		
計画に記載している内容	江戸時代に東海道筋であった市道0026において、地上を横断している電線類の地中化による景観整備を行い、歴史的なまちなみ景観の形成を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和元年度に検討した電線類地中化の手法を基に、電線企業者等と調整を行い、一部区間(約100m)の横断線地中化を実施した。  【市道0026ほか1路線物件補償契約(地中管路布設、横断架空線撤去・入線:L=約100m) 令和2年12月～令和3年3月】 【関連:小田原用水保全工事(市道0026との交差点付近の景観舗装) 令和2年12月～令和3年3月】			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○事業箇所



○電線類地中化事業

横断架空線撤去・入線



施工前



施工後

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
祭礼等保存継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の保存継承のため、それらの活動のPR等を通じて、地域の伝統文化伝承の意識と担い手の育成などの効果を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和2年度については、コロナ禍のため、白髭神社の奉射祭は実施されたものの、その他の祭礼等の多くは中止となったが、引き続き、祭礼等が途絶えることのないよう、周知、PRなど継承のための支援をしていく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「白髭神社奉射祭」  
(令和3年1月7日)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物等の維持管理や定期的な一般公開等の活用を進める法人等を支援し、回遊・交流拠点としての機能を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致形成建造物の「旧内野醤油店(板橋)」は、地域住民団体による、一般公開やイベントなどを実施した。

【定量的評価】

旧内野醤油店 平成29年度 開館日: 44日 入館者数: 899人 催事数: 14  
 平成30年度 開館日: 46日 入館者数: 780人 催事数: 7 喫茶「武功庵」 21回(495人)  
 令和元年度 開館日: 15日 入館者数: 192人 催事数: 9 喫茶「武功庵」 13回(277人)  
 令和2年度 開館日: 7日 入館者数: 182人 催事数: 1 喫茶「武功庵」 4回(121人)  
 ※コロナ禍のため、特別見学会3回、催事3回、喫茶「武功庵」3回を中止(令和3年1～3月)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○旧内野醤油店



「蓄音器で懐かしのレコードを聴こう」開催の様子



喫茶「武功庵」  
隠居の間を活用し古民家カフェを月1回程度営業

評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<板橋・南町地区> ・大窪地区まちづくり実行委員会及び十字地区まちづくり委員会については、「歴史・文化」をテーマとしたまちづくりを掲げている。地区内に残る貴重な歴史的・文化的資源を継承していくため、地区住民等の有志により十字歴史・文化勉強会及び大窪歴史・文化勉強会を平成30年度に設立した。 ・令和元年度の勉強会については、行政における歴史的建造物活用エリアコーディネートプランや小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)等の取組を共有し、公民連携による歴史まちづくりの推進を図った。 ・令和2年度の勉強会については、コロナ禍のため、対面での開催を見送っているが、各会員には景観計画等の資料を提供するなど、今後の取組を進めるうえで必要な情報提供を行った。			
<b>【定量的評価】</b> 勉強会の開催回数 十字歴史・文化勉強会 平成30年度 5回、令和元年度 5回、令和2年度 0回(コロナ禍のため、開催は見送り) 大窪歴史・文化勉強会 平成30年度 3回、令和元年度 5回、令和2年度 0回(コロナ禍のため、開催は見送り)			
<かまぼこ通り地区> ・令和元年度に引き続き、小田原かまぼこ通り活性化協議会が主体となり、地区の歴史的な街なみ形成のため「小田原提灯街灯」を設置した。令和2年度については、2件設置した。			
<その他> ・今後の歴史まちづくりの参考とするため、歴史まちづくりに取り組む民間団体を対象としたアンケートを実施し、その結果を最終評価シートへ掲載した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<かまぼこ通り地区> ○小田原提灯街灯の設置			
			
設置した小田原提灯街灯 (ADDRESS 小田原A邸)			

評価軸③-19 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
街かど博物館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小田原に古くから栄えた地場産業を営む店舗等を一般公開する「街かど博物館」において、訪れる人々に街の歴史や魅力を知ってもらう体験プログラムなどの運営を支援することにより、地域における伝統文化伝承への意識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・街かど博物館認定数 17館</li> <li>・街かど博物館体験ツアー 令和元年度 開催回数:3回(延べ参加者数:34人) 令和2年度 開催回数:1回(参加人数:8人)</li> <li>・街かど博物館館長連絡協議会 令和元年度 開催回数:3回 令和2年度 開催回数:1回</li> <li>・街かど博物館ファンクラブ会員数 令和元年度:584人 令和2年度:602人</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○街かど博物館館長連絡協議会                      第1回(通算第59回): 令和2年10月15日(木)開催                      ・令和元年度 収支決算、事業報告について                      ・令和2年度 収支予算、事業計画について</p> <p>○街かど博物館体験ツアー                      令和3年3月27日(土)「小田原の木工にふれる、まちはく手づくりツアー」を開催                      ※当初予定していた次の2つのツアーについては、コロナ禍により延期とした。                      ・令和3年1月30日(土)「かまぼこ食べ比べ!海の恵みを満喫ツアー」                      ・令和3年2月27日(土)「はじめての街かど博物館ツアー」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>施設見学 (薬博物館)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施設見学・昼食 (のれんと味の博物館)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>寄木コースター製作体験 (寄木ギャラリー)</p> </div> </div> <p>○街かど博物館館長連絡協議会に作業部会を新設                      令和元年度にアドバイザーを招致し、街かど博物館の課題分析や今後の方向性について検討した。さらに具体的な事項や取組内容を検討するため、若手館長やまちづくり団体のメンバーによる作業部会を新設した。                      第1回作業部会(zoom会議): 令和2年11月26日(木)                      ・来館者に街かど博物館のことをSNSで発信してもらうための方策について</p> <p>○会報「まちはく通信」の発行                      街かど博物館ファンクラブ会員へイベント情報を知らせる「まちはく通信」を発行</p>			

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
なりわい交流館活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開館から19年が経過し、誰でも立ち寄れるお休み処として、また、観光客の回遊拠点として定着している。 ・来館者数：令和元年度 38,720人 令和2年度 18,269人 ・自主事業の開催：令和元年度 1回開催 参加者5人 令和2年度 1回開催 参加者約100人 ・イベント会場の利用回数：令和元年度 86回 令和2年度 15回 ・開館日数：令和元年度：365日 令和2年度：242日(時間短縮営業日を含む)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○小田原宿なりわい交流館機能</p> <p>観光案内や休憩のために立ち寄っていただき、建物自体の持つ旅籠の雰囲気や、生業(なりわい)や宿場に関する展示資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。</p>		 <p>施設外観</p>	
 <p>&lt;1階&gt; 観光案内・お休み処</p>		 <p>&lt;2階&gt; イベントスペース</p>	
<p>○地場製品のPRとおもてなし機能の強化</p> <p>地場製品の魅力発信と来館者へのおもてなし向上により来館者の増加を図ることを目的に実施している。</p> <p>(1)地場製品の提供 新たに木工製品の展示・紹介をするとともに、手ぬぐいの展示・販売方法の見直しを行った。</p> <p>(2)地場飲料の提供 3種類(梅の風、湘南ゴールドエナジー、片浦レモンサイダー)の地場飲料の販売を継続して行っている。</p> <p>(3)広場の利活用 屋外の広場において、3密を回避した自主イベントを開催するとともに、地元協議会のイベント会場として貸し出し、利活用を促進した。 ・真夏の夕暮れ音涼み 地元の方を対象に地域交流を目的とした音楽イベントを開催した。 ・秋酒あじわい巡りへの協力(主催：小田原かまぼこ通り活性化協議会)参加者の受付や、おでんやひもの等の地場産品を販売した。</p>		 <p>地場飲料の販売</p>	
<p>○公募型プロポーザル方式による管理運営業務委託者の選定</p> <p>公民連携により交流館の機能と魅力を高めていくため、令和2年度の管理運営業務の受託者選定に公募型プロポーザル方式を導入し、合同会社小田原かまぼこ発信隊を選定した。</p>		 <p>真夏の夕暮れ音涼みの様子</p>	

評価軸③-21  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況
伝統的工芸品産業産地組合助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う事業者団体の活動を支援し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業については、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与するため、助成を行った。

【定量的評価】

助成件数(寄木・漆器)

平成23年度:2件、平成24年度:2件、平成25年度:2件、平成26年度:2件、平成27年度:1件、平成28年度:1件、平成29年度:1件、平成30年度:1件、令和元年度:1件、令和2年度:1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○組合による従事者・後継者育成事業

・寄木製品の試作研修

【日 程】 令和2年10月16日、23日、29日、11月13日、19日の計5日間

【講 師】 金指勝悦、露木清勝、石川一郎

【参加者数】 実人数:16人 延べ人数:39人

・手道具類の実技研修

【日 程】 令和2年11月30日、12月3日、7日、14日、21日の計5日間

【講 師】 石川一郎、露木清勝

【参加者数】 実人数:14人 延べ人数:26人



○組合による販路開拓事業

・伝統工芸青山スクエア、アンテナショップWAZA屋における常設展示販売

・伝統工芸青山スクエア特別展(モザイクの調べ 箱根寄木細工)

【期 間】 令和2年8月21日～9月3日

【内 容】 実演(演者4人)、体験(指導者7人)

【体験者数】 46人

・KOUGEIE EXPO 2020 in KYOTO

【期 間】 令和2年10月31日～11月3日

【場 所】 京都駅ビル

・KOUGEIE EXPO 2020 ONLINE

【期 間】 令和2年12月14日～令和3年3月31日

【内 容】 オンライン展示販売

・全国伝統的工芸品展WAZA2021 東武

【期 間】 令和3年2月18日～23日

【内 容】 展示販売

・小田原・箱根「木・技・匠」の祭典 オンライン

【期 間】 令和3年3月17日～

【内 容】 2020「木のクラフトコンペ」オンライン展示





評価軸③-22  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

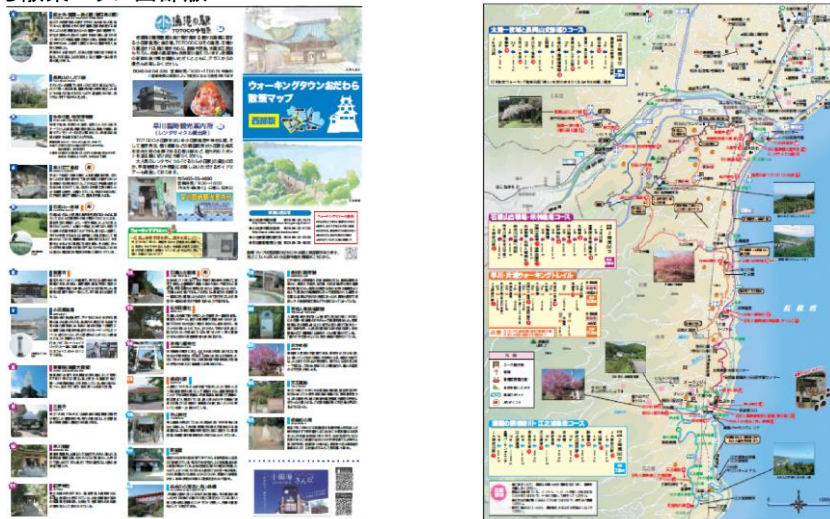
		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
小田原散策マップ等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的なまちなみ・施設等の分布、史実等のストーリーや回遊ルート等を紹介する散策マップを作成・配布することにより、点在する歴史的資源における回遊が促進され、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、愛着を育むことにより、歴史的な生業や活動の活性化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・ウォーキングタウンおだわら散策マップは、東部版、中央版、西部版の3種類あり、令和2年度は西部版を30,000部発行し、令和2年7月から、本市観光課執務室、小田原市観光協会、小田原駅観光案内所、早川臨時観光案内所、漁港の駅TOTOCO小田原、小田原城天守閣、小田原城二の丸観光案内所、その他(地元商店等)で配布を行った。 ・発行に伴い、案内板等の整備と合わせた記載内容等の確認及び更新を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	毎年、ウォーキングコースに設置した道標や案内板などの設置状況を調査した上で、散策マップの作成に当たっている。		

状況を示す写真や資料等

○おだわら散策マップの全体エリア



○おだわら散策マップ西部版



評価軸③-23 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
レンタサイクル事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度  
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 レンタサイクルの利便性を高めることにより、旧城下やその周辺に点在する歴史的資源をより容易に巡ることが可能となり、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会を増やし、歴史的な生業や活動の活性化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成27年12月に小田原駅東口駐車場の一角に貸出所を開設した。  
 ・平成30年7月には歴史見聞館の貸出所を閉鎖したが、令和元年10月5日から新たに早川臨時観光案内所と同時に貸出所を開設した。  
 ・梅まつり開催期間に合わせ、平成28年度から梅の里センター内に臨時貸出所をオープンしている。  
 ・令和2年度については、令和3年6月オープン予定の小田原市観光交流センターに新たな貸出所を増設予定であり、その需要を見据え、電動アシスト付き自転車とクロスバイクを計10台購入した。  
 【貸出実績】(城:小田原城歴史見聞館、駅:小田原駅東口駐車場、早:早川臨時観光案内所、梅:梅まつり臨時貸出所)  
 平成24年度:1,786台(城のみ)  
 平成25年度:1,768台(城のみ)  
 平成26年度:2,091台(城のみ)  
 平成27年度:2,554台(城:1,864台、駅:690台) ※12月に小田原駅東口駐車場内に拠点を増設  
 平成28年度:4,113台(城:1,109台、駅:2,930台、梅:74台)  
 平成29年度:4,205台(城:920台、駅3,195台、梅:90台)  
 平成30年度:3,148台(城286台、駅2,790台、梅:72台)  
 令和元年度:2,233台(駅:2,085台、早:57台、梅:91台) ※小田原駅東口駐車場は3月3日から、早川臨時観光案内所は3月7日から休止  
 令和2年度:1,299台(駅:1,167台、早:102台、梅30台) ※小田原駅東口駐車場は6月15日から再開、1月9日から3月21日まで休止。早川臨時観光案内所は6月20日から再開。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

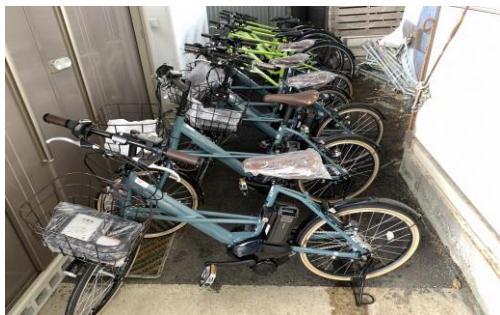
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○レンタサイクル「ぐるりん小田原」のチラシ



○購入自転車



電動アシスト付き自転車(5台)



クロスバイク(5台)

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
民俗芸能保存支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体の担い手育成や普及啓発などの取り組みを支援することにより、民俗芸能の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原民俗芸能保存協会は、市内に残る民俗芸能団体により構成され、民俗芸能の保護・育成に努め、毎年秋に協会構成団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する後継者育成発表会を開催し後継者の育成を図っている。  
 ・令和2年度については、コロナ禍のため、後継者育成発表会をやむなく中止したが、代替えとして、市役所2階市民ロビーにて、民俗芸能のパネル展示を実施した。(令和2年11月4日～13日)  
 ・おだわら市民学校において専門課程の受講生に「小田原の民俗芸能について」学び伝える中で、栢山田植歌の継承を取り上げた。市民学校受講生のうち1人が栢山田植歌保存会の活動に参加するに至り、後継者の獲得に寄与することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



市民ロビー展示 小田原の民俗芸能の紹介  
(令和2年11月4日～13日)



おだわら市民学校 講座「小田原の民俗芸能について」(令和2年10月28日)



栢山田植歌保存会  
市民学校受講生を迎えての稽古の様子  
(令和2年11月21日)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財記録作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の伝統文化伝承への意識を高め、無形文化財等の担い手育成などを促進するため、無形民俗文化財の実態調査や現在における詳細な記録を作成し、後世に確実に継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の多くの地域で行われている祭礼のうち「鹿島踊」について、平成29年度から継続し、披露される祭礼の取材等を行った。令和2年度は、「米神正八幡神社」、「根府川寺山神社」にて伝承されている歌詞について取材し、後世への継承を図った。  
 ・市内の多くの地域で行われている祭礼のうち「道祖神祭り」について、酒匂・小八幡地区にて道祖神神輿を実見、保管状況を確認し、後世への継承を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



根府川寺山神社(鹿島踊)取材 令和2年10月22日



酒匂7区地区道祖神神輿 令和2年7月15日



小八幡地区道祖神神輿 令和2年7月15日

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の総合的把握・育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 文化財を総合的に把握する仕組みを構築することで、文化財の効果的な活用を図り、また、保存・活用に携わっている団体・個人を育成する取組を支援していき、全市において歴史まちづくりの推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の文化財を総合的に把握する作業の一環として、石造物を記録し後世に残す取組を進めた。  
 ・平成29年7月に石造物調査会、令和元年6月に古写真整理会が市民ボランティアにより発足され、文化財に対する理解を深める機会となっている。現在は、石造物調査会29名、古写真整理会13名がボランティアとして参加している。  
 ・令和2年度の取組として、石造物調査会では小田原市久野地区を調査し、馬頭観音や記念碑など41個の石造物を確認し、調査進捗状況を市ホームページにて公開した。  
 ・古写真整理会では郷土文化館で収蔵している昭和期の小田原市街地写真216点を整理し、市ホームページに公開した。今後も調査・整理し、順次公開していく。  
 ・このほか地域に残る文化財(地域資源)として史跡等を小田原市地理情報システム(Navi-o)にて、位置情報、名称、簡易な説明を478件を掲載し、小田原地下街「ハルネ小田原」ハルネギャラリーにて地域資源を周知する展示を開催し、周知に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
 ■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 実施にあたり、調査手法や会の運営方法など参加者と協議しながら、持続可能な形態を模索している。また、さまざまな文化財について把握する必要があるため、ボランティアによる調査活動を広げていくため、ボランティアによる調査活動として比較的容易な祭礼調査などについては検討していく。

状況を示す写真や資料等



石造物について地域住民への聞き取り調査  
(令和2年11月3日)



石造物調査ボランティアによる調査の様子  
(撮影作業・記録作業、令和2年12月1日)



古写真整理ボランティアによる調査成果  
(古写真と同位置の写真撮影、令和2年12月3日)



ボランティアによる調査の様子  
(古写真撮影地確認作業、令和2年12月3日)

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
伝統行事・伝統文化啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化については、普及啓発に係るイベントの開催やパンフレットの制作により、人々の伝統文化への意識を高め、担い手の発掘、育成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・例年開催してきた小田原市民文化祭については、令和2年度コロナ禍のため中止とした。
- ・市内各小学校で伝統文化のアウトリーチ事業(和太鼓)を実施。(開催日:令和2年10月22日、11月12日、12月8日)
- ・伝統芸能(歌舞伎)公演を実施した。(令和2年10月29日)

2

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

○小学校での伝統文化のアウトリーチ事業



和太鼓2校  
(令和2年10月22日、11月12日、12月8日)  
参加者数:241人

○歌舞伎公演



チラシ

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
職人育成研修等推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和2年度

支援事業名 地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容  
 法人等と連携し、歴史的建造物の調査・実態把握と職人育成研修(調査・整備・改修等を兼ねた実践型研修)を進め、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を図る。  
 また、歴史的建造物の改修・整備、活用等を促進するための相談対応等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・伝統工法に通じた職人の育成等を目的として設立された「NPO法人おだわら名工舎」への業務委託により、民間所有長屋門の構造及び歴史調査、民間所有建造物の歴史的経緯を踏まえた建物調査、旧神奈川県保健福祉事務所跡地杭(西海子小路)の修復及び旧松本剛吉別邸正門袖塀の修景整備の実習を行った。  
 ・建物の歴史的な価値評価、日常の維持管理、改修・整備等に関する相談に対し、助言を行った。

【定量的評価】

平成29年度	職人育成研修の実施件数	4件(参加者数58人)	相談の受付数(調査・修理相談等)	7件
平成30年度	職人育成研修の実施件数	4件(参加者数48人)	相談の受付数(調査・修理相談等)	8件
令和元年度	職人育成研修の実施件数	4件(参加者数61人)	相談の受付数(調査・修理相談等)	3件
令和2年度	職人育成研修の実施件数	3件(参加者数30人)	相談の受付数(調査・修理相談等)	5件

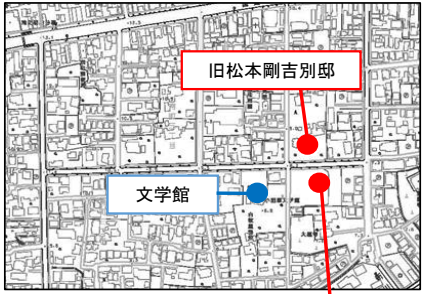
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	職人の育成による伝統工法の技術継承に加え、受講者を含む関係者により、公有・民有の歴史的建造物の維持保全を担う専門的組織の編成を目指す。
--	---

状況を示す写真や資料等

旧神奈川県保健福祉事務所跡地杭(西海子小路)の修復及び  
 旧松本剛吉別邸正門袖塀の修景整備の実習

受講者: 神奈川県立小田原城北工業高等学校建設科木工班(9名)  
 指導: 小田原大工職組員、南足柄大工職組員



位置図 旧神奈川県保健福祉事務所跡地

○旧神奈川県保健福祉事務所跡地杭(西海子小路)の修復



○旧松本剛吉別邸正門袖塀の修景



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
文化財の指定		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 重点区域内には、国指定史跡である史跡小田原城跡をはじめとする多くの指定文化財が存在しており、本市の歴史的風致の維持向上のため、関連法令等に基づき保護措置を講じて、保存・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市指定文化財の新規候補物件である、成願寺所蔵の「瀟湘八景図」について、現地視察を実施した。今後は、市指定にするための準備を進めていく。  
・旧豊島家住宅主屋、門及び塀については、令和3年2月4日付で国の登録有形文化財として登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○市指定文化財新規候補物件視察(令和2年10月20日文化財保護委員会にて)



○国登録有形文化財に登録された旧豊島家住宅主屋





評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)及び防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。  
 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<文化財の修理(整備含む)>  
 ・引き続き、史跡小田原城跡御用米曲輪において、修景整備工事を実施した。  
 ・国・県・市指定文化財の修理に対する補助事業について、令和2年度は7件実施した。

<文化財の防災>  
 ・「文化財防火デー」にあわせ、消防と連携し、消防訓練や設備点検・防火指導を実施しているが、コロナ禍のため、消防訓練を中止し、防火指導のみ実施した。  
 ・文化財所有者を対象に、設備点検や防火指導や広報誌等で防火意識の向上に向けた啓発活動を実施した。

<文化財の防犯>  
 ・史跡小田原城跡については、臨時職員による定期的な見廻り(週1回)とあわせ、除草・清掃活動を実施した。  
 ・個人や法人が所有する文化財については、所有者からの年1回の管理状況に関する報告にあわせ、日常の点検・監視について推奨した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

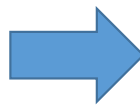
状況を示す写真や資料等

<文化財の修理(整備を含む)>

○文化財の修理



勝福寺本堂の装飾の塗装(施工前)



勝福寺本堂の装飾の塗装(施工後)

<文化財の防災>

○設備点検・防火指導



崇福院地藏堂  
(令和3年1月26日)



正恩寺  
(令和3年1月26日)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「文化財公開事業」として、埋蔵文化財の最新出土品展や中里遺跡が県指定重要文化財になったことを記念した企画展を実施した。また、国登録有形文化財の旧内野醤油店など、文化財建造物公開事業を実施した。  
 ・例年実施の遺跡講演会、遺跡調査発表会はコロナ禍のため中止となったが、その内容を刊行物にして周知した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○文化財公開事業



最新出土品展チラシ(小中学校へも配布)



最新出土品展(令和2年10月31日～12月20日)



企画展『中里遺跡の“弥生的”生活の始まり』  
(令和2年10月31日～12月20日)



○文化財建造物春の見学会(令和2年度はコロナ禍のため中止)

○文化財建造物秋の観覧会(令和2年11月15日) 参加者数 959人



旧内野醤油店(板橋)



岩瀬家住宅(鴨宮)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
皆春荘と旧松本剛吉別邸を改修	令和2年6月25日	建通新聞
豊島邸が国登録文化財に	令和2年7月18日	神静民報
小田原城で能オンライン公演 無観客で全世界へ配信	令和2年8月14日	神静民報
シンボルの巨大提灯復活 小田原駅 台風被害から10か月半ぶり	令和2年8月30日	神静民報
車両の「里帰り」実現へ 資金協力に946万円	令和2年10月3日	神静民報
文化財建造物一日限定公開	令和2年11月11日	読売新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「皆春荘及び旧松本剛吉別邸改修工事」、小田原城で開催された「能オンライン公演」、JR小田原駅の「巨大小田原提灯」修復、「文化財建造物一日限定公開」などについて、報道された。  
 ・イベント開催時には、行政側から積極的な情報提供をすることで各種メディアから取材があり、報道されることにより市民等に周知することができ、本市の歴史に関する取組について、関心を高めることができた。

【定量的評価】

小田原市が、各種メディア(映画・テレビ・CMなど)に取り上げられた件数 ※( )内は依頼・相談のあった件数  
 H23:100件(233件)、H24:74件(155件)、H25:70件(144件)、H26:85件(168件)、H27:101件(179件)、  
 H28:94件(171件)、H29:73件(121件)、H30:120件(167件)、R1:106件(143件)、R2:124件(165件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

令和2年6月25日付 建通新聞

令和2年8月14日 神静民報

令和2年8月30日 神静民報

令和2年11月11日付 読売新聞

評価軸⑥-1  
その他

評価対象年度 令和2年度

項目

小田原城天守閣の魅力向上

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・コロナ禍のため、天守閣及び常盤木門SAMURAI館は令和2年3月31日から5月31日まで休館し、歴史見聞館NINJA館も3月4日から11月6日まで休館したことにより、令和2年度の天守閣入場者数は大幅に減少した。なお、各施設の再開後は検温の実施や入場制限を行い、社会情勢を踏まえた運営を行っている。

・小田原城や周辺施設を活用した誘客対策として、天守閣特別展「復興小田原城天守閣—昭和から平成・令和へ—」(令和2年11月21日～令和3年5月30日)等を開催している。

【小田原城天守閣入場者数】

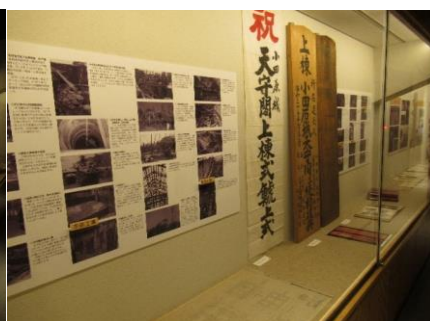
平成30年度 603,318人 令和元年度 580,019人 令和2年度 213,281人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

天守閣特別展「復興小田原城天守閣 —昭和から平成・令和へ—」  
(令和2年11月21日～令和3年5月30日)



評価軸⑥-2  
その他(効果等)

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
----	--------	----------------

観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○まち歩きアプリの開発  
 ・平成29年4月から観光客の回遊性や利便性の向上を図るために、観光用まち歩きアプリを開発し、配信を開始した。  
 ・アプリのダウンロード数は、これまでに、延べ44,278件を記録している。  
 【定量的評価】  
 日本語版ダウンロード数 平成29年度:9,477件 平成30年度:9,172件  
 令和元年度:7,713件 令和2年度:6,716件

○誘客ガイドの実施  
 ・NPO法人小田原ガイド協会やNPO法人小田原まちづくり応援団などの市民団体が中心となり、誘客ガイドや企画・予約ガイドなどによりまち歩きツアーを実施している。  
 【定量的評価】  
 無料ガイド(誘客ガイド)平成29年度:1,425件(9,082人) 平成30年度:1,985件(9,818人)  
 令和元年度:1,902件(9,088人) 令和2年度:439件(1,598人)※6月13日から順次再開、1月8日から3月21日まで休止。  
 有料ガイド(予約ガイド)平成29年度:621件(20,703人) 平成30年度:524件(21,019人)  
 令和元年度:416件(13,889人) 令和2年度:96件(2,170人)※7月1日から順次再開(4月5日から休止)

○小田原まち歩き実行委員会により、「小田原あるってこ」パンフレットを9000部発行した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○まち歩きアプリ



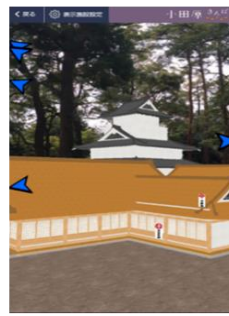
パンフレット



ロゴマーク



アプリ(トップ画面)



アプリ(3DCG)  
 ※石垣山一夜城の  
 仮想空間体験

案内板(ARポイント)  
 の設置



○小田原あるってこ



評価軸⑥-3  
その他(効果等)

評価対象年度 令和2年度

項目

木づかいのまちの取組(小田原産木材の活用など)

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・「木づかいのまち」をコンセプトに小田原産木材の利用拡大を推進している。
- ・木育事業について、東京おもちゃ美術館との「ウッドスタート宣言」に伴い、誕生祝い品を配付した。  
令和2年度 誕生祝い品の配付数:212セット
- ・わたしの木づかいパイロット事業として、市内小学校13校で地域産ヒノキの箸作りを行った。  
令和2年度 箸作り体験児童数:804名
- ・「学校木の空間づくりモデル事業」として、豊川小学校の内装の木質化改修を実施した。
- ・引き続き公共建築物における木材の利用促進に努めた。  
(「小田原市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」有)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



誕生祝い品  
(「ひのきかたかた」と「かまぼこくるま」セット)



わたしの木づかいパイロット事業  
(ヒノキの箸)



学校木の空間づくりモデル事業  
(豊川小学校内装木質化)

評価軸⑥-4  
その他(効果等)

項目	評価対象年度	令和2年度
----	--------	-------

歴史的風致に関する意識啓発

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 広報小田原1月号への特集記事掲載
  - ・市民の認知度向上を図るため、広報小田原1月号(令和3年1月1日発行)へ歴まち計画をテーマとした特集記事を掲載した。
  - ・広報小田原は、毎月1日に20,000部を発行しており、市民の約75%が加入している自治会を経由し、加入者へ配布されるほか、主要な公共施設や駅、郵便局等で入手できることから、市民に対して広く周知が図られた。
- 歴史まちづくりカード(通称:歴まちカード)の発行
  - ・関東甲信地方において、国と連携し歴まち計画認定都市の魅力をPRするため、歴まちカードを作成した。平成30年8月から配布を開始し、市民や観光客に対して本市の歴史的風致を広くPRしている。なお、配布場所は、小田原城天守閣・松永記念館・なりわい交流館・小田原文学館・おだわら市民交流センター UMECO(レンタサイクル受付)の5箇所となっている。
- 【定量的評価】
  - 平成30年度 配布枚数 3,322枚(集計期間:平成30年8月23日~平成31年3月31日)
  - 令和元年度 配布枚数 4,648枚
  - 令和2年度 配布枚数 2,168枚
- 民間プロジェクトによる小学校・幼稚園への歴史参考書の配布
  - ・民間プロジェクトにより、市内全小学校の小学4年生に「おだわら学習帳」、小学1年生及び市内16幼稚園の4歳児に「おだわらぬりえ」が配布された。
  - ・配布対象に合わせた分かりやすい内容となっており、歴史的風致の内容も含まれ、初等教育における周知が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○広報小田原1月号への特集記事掲載

歴史的風致の特色を知る

特集記事「歴史的風致の特色を知る」

○民間プロジェクトによる小学校への歴史参考書の配布

おだわら学習帳

おだわらぬりえ

評価軸⑥-5  
その他(効果等)

評価対象年度 令和2年度

項目

歴史まちづくりの効果

計画に記載している内容 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることで、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着が深まるだけでなく、歴史的建造物や伝統文化の継承、人々の交流人口の拡大、観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 入込観光客数及び施設入館者数の増加 ※詳細は下記を参照。
  - ・令和2年度の施設入館者数については、コロナ禍や工事等による休館があったため落ち込んでいる。
  - ・史跡小田原城跡のシンボルである小田原城天守閣の入館者数は、平成28年度をピークに減少傾向であるものの、平成27年度のリニューアルオープン前と比較すると増加している。
  - ・市有だけでなく民有の歴史的風致形成建造物(旧内野醤油店)について、所有者の協力による定期的な一般公開により一定の来館者数となっている。(詳細は、p.19参照)
- 県内自治体間、認定都市間での連携強化
  - ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施 ・歴史的景観都市協議会への参加
  - ・関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議への参加 など
- 計画に位置付けた事業数の変化
  - ・本計画が浸透し、事業が増加し、歴史まちづくりが推進されている。
  - 平成23年度:21 平成24年度:21 平成25年度:21 平成26年度:21 平成27年度:22 平成28年度:22 平成29年度:26 平成30年度:28 令和元年度:28 令和2年度:28
- 歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の件数の変化
  - ・歴史的風致形成建造物(指定候補含む)に位置付けていくことで、本市内に残る歴史的建造物の保全・活用が推進されている。
  - 平成23年度:20 平成24年度:19 平成25年度:19 平成26年度:19 平成27年度:20 平成28年度:20 平成29年度:21 平成30年度:23 令和元年度:23 令和2年度:23
- 民間利活用に向け取り組む歴史的建造物
  - ・豊島邸(一月庵)については、令和3年2月4日付で「旧豊島家住宅主屋」及び「旧豊島家住宅門及び塀」が国登録有形文化財(建造物)に登録された。また、民間事業者の利活用に向けた取り組みとして、令和3年度中に宿泊施設等(初動期は、テレワーク・ワーケーション施設)の利活用を開始することとした。
  - ・清閑亭については、民間事業者への貸付を目指し、民間提案制度を活用した新たな利活用事業者を選定することとした。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

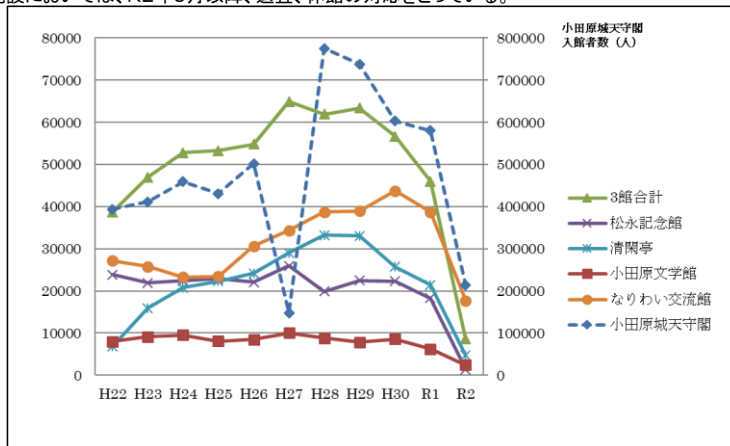
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設入館者数の増加

指標	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
入込観光客数(人)	5,040,000	4,246,000	4,370,000	4,650,000	4,514,000	4,538,000	5,943,000	6,114,772	6,182,240	6,248,464	3,705,248
小田原城天守閣入館者数(人)	393,995	411,240	459,548	430,475	502,330	148,325	775,406	738,086	603,318	580,019	213,281
松永記念館	23,829	21,901	22,388	22,905	22,086	25,918	19,678	22,461	22,342	18,319	1,408
清閑亭	6,884	15,969	20,777	22,324	24,190	29,007	33,201	33,102	25,712	21,421	4,683
小田原文学館(本館・別館)	8,046	9,121	9,578	8,068	8,501	10,012	8,834	7,823	8,585	6,249	2,461
3館合計(人)	38,759	46,991	52,743	53,297	54,777	64,937	61,913	63,386	56,639	45,989	8,552
旧内野醤油店	-	-	1,211	1,510	1,244	1,397	978	899	790	192	182
旧松本剛吉別邸	-	-	-	-	-	-	7,005	9,538	6,070	5,601	0
小田原宿なりわい交流館	27,189	25,807	23,266	23,473	30,626	34,339	38,701	39,001	43,756	38,720	17,716
皆春荘	-	-	-	-	-	-	-	-	2,322	1,990	0

※入込観光客数については、暦年(1月1日～12月31日)の集計値となる。  
 ※小田原城天守閣入館者数(人)において、耐震改修工事による休館の為、H27(平成27年4月～6月)、H28(平成28年5月～12月)の集計値となる。  
 ※コロナ禍のため、各施設においては、R2年3月以降、適宜、休館の対応をとっている。





評価対象年度	令和2年度
--------	-------

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 令和3年度第1回小田原市歴史まちづくり協議会(書面会議)

会議等の開催日時: 令和3年5月12日から19日まで

(コメントの概要)

- (1)本計画の進捗については、コロナ禍により影響を受けた事業も見受けられるが、全体としては、着実に進んでおり評価できる。引き続き、社会情勢を見定めながら、歴史まちづくりを推進していただきたい。また、コロナ禍による歴史まちづくりへの影響をまとめ、今後活かしていくとよい。
- (2)民俗芸能保存支援事業については、生涯学習施策の1つである「おだわら市民学校」の専門課程において、「栢山田植歌保存会」を取り上げ、新たな会員の獲得につなげており、複数の所管課が連携したことによる歴史まちづくりの成果であるため、高く評価できる。また、無形の文化財については、再開に要する労力が大きいため、中断したままにならないよう支援してほしい。今後は、本計画の成果を学校教育に活かす等、さらなる部署横断の取り組みを進めていただきたい。
- (3)小田原用水保全事業については、保存・維持・管理が難しいのは承知しているが、可能な限り風情を残しながら、引き続き進めていただきたい。
- (4)歴史的風致形成建造物については、第1期計画で指定したものを、継続して第2期計画で指定することはよい取組である。第2期計画の進展を見据えて、さらなる候補建造物の調査を進めていただきたい。また、整備した歴史的風致形成建造物については、国登録有形文化財への登録や景観重要建造物の指定等、恒久的な保護措置が可能なように進めていくとよい。
- (5)歴史まちづくりに資する民間の取り組みについても、進捗評価シートに幅広く取り上げられており、素晴らしいと思う。

(今後の対応方針)

- (1)感染症防止対策等を講じ、各事業への影響を最小限に抑えながら、第2期計画においても歴史まちづくりを推進してまいります。今後、コロナ禍からの回復を図るためにも、歴史まちづくりに与えた影響について検証してまいります。
- (2)無形の文化財については、関係所管と連携を図り次世代へ継承できるよう、引き続き努めてまいります。また、第2期計画の学校教育への展開については、令和3年度に市内小学校の教員向けに歴史まちづくり講座の実施を予定しており、児童生徒を含めた市民への周知の機会と捉え、真摯に取り組んでまいります。
- (3)小田原用水保全事業については、地域住民や来街者の反応など、モデル区間として整備した箇所の事業効果を検証しつつ、今後の事業展開を検討いたします。
- (4)歴史的風致形成建造物については、歴史的風致の維持及び向上を図るため、候補物件の調査及び歴史的風致形成建造物への指定を進めてまいります。また、恒久的な保護を図るため、文化財の指定・登録、景観重要建造物の指定等の他制度との重複指定について、検討を進めてまいります。
- (5)歴史まちづくりに資する民間の取り組みについて、今後も進捗評価シートに記載するよう努めてまいります。